



関市板取の『杉杉』



■会 長 加藤照彦 ■副会長 西田泰幸 ■幹 事 伊佐治啓司



関市民 1000 人が参加して創りあげた  
シャインカービンアード『関二鳥』

## D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーテーマ  
『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』 SERVE TO CHANGE LIVES  
RI 会長：シェカール・メータ

関ロータリークラブ会長テーマ  
『和衷協同』 56 代会長：加藤照彦



### 本日のプログラム

第 2608 回例会 2021 年 10 月 5 日 (火)

「ベトナムのコロナ感染状況と事業活動の実態」

国際奉仕委員長 臼田龍司会員 ※オンライン例会

### 前例会の記録

第 2607 回例会 9 月 28 日 (火) 12 : 30

「55 周年記念事業について」 ※オンライン例会

社会奉仕委員長 奥村敏教会員

◆開会点鐘

◆会長挨拶



前回の 3 クラブ合同例会には、ご参加いただき有り難う御座いました。浦田ガバナーの卓話が DVD に編集されましたので、機会がありましたら放映させて頂きたいと思っております。本日のプログラムは、年初のクラブアッセンブリーで、亀井 55 周年実行委員長が来年 3 月に 55 周年事業と

して、関市にデジタルサイネージを贈呈することを発表されました。今日は、そのサイネージで放映する内容の情報収集について、亀井実行委員長と社会奉仕委員長の奥村さんに説明をして頂きます。奥村さん宜しくお願い致します。

さて、9 月 17 日に自民党総裁選が告示されました。岸田さん・河野さん・高市さん・岐阜から野田聖子さんと、女性を 2 名含んで立候補しています。派閥の戦いになりますので、もしかしたら、日本初あるいは岐阜県初の女性リーダーが誕生するかも

しれません。明日の投開票に注目したいと思います。

話しは変わりますが、先週末の 23 日は、「秋分の日」の祝日でした。秋分の日は、他に「彼岸」といわれます。暑さ寒さも彼岸までとはよく言いますが、お彼岸という意味が案外知られてないので少し話したいと思います。お彼岸には春彼岸と秋彼岸があります。それぞれ「春分の日」と「秋分の日」を中心に、前と後に 3 日間ずつ計 7 日間をお彼岸と言います。彼岸に入る初日を彼岸の入り、真ん中を中日、最終日を彼岸明けと言います。「中日」は真ん中だから中日と呼ぶのではなく、ご存知のように、この日は昼と夜の長さが同じで、太陽が真東から昇り、真西に沈むことから西の方に阿弥陀如来の極楽浄土があるとする仏教の信仰に結びつきます。ではなぜ「彼岸」という言葉が生まれたか。梵語に「波羅密多」という言葉があり、波羅は彼岸、密多は行くという意味です。仏教ではこの世を此岸と呼び、煩惱の多いこの此岸を離れて、煩惱のない悟りの境地である涅槃へ行くことを言います。この涅槃が彼岸なのです。そして春分の日、秋分の日太陽が真西に沈むので、西にある極楽浄土を正しく示し、先祖の霊を供養することで極楽往生への願いが叶うと言われております。お寺では彼岸会の法要が催され墓参りをし、家庭では仏壇を掃除して、水・花・果物を春には大きく(牡丹餅)、秋には小さく(お萩)と季節の花の名前にちなんで、お供えして供養をします。

先祖あつての私達です。父母そのまた父母と 10 代遡ると、その人数は 2046 人になり、その内の誰 1 人欠けても今の自分は存在しません。私達は今、混沌とした時代を毎日仕事に追われコロナと戦い、苦の連続の中を必死になって生きています。年に数回は心静かに先祖に感謝し清浄な心を養うことは、とても大切なことだと思います。

## ◆55周年実行委員長 亀井高利会員



55周年記念事業について式典、記念誌の発行、そして目玉のデジタルサイネージの関市への贈呈事業について、

3月の本番に向かい各準備が進められているところでありますが、今日はデジタルサイネージを通じて放映される、関市の水害時の避難並びに防災に関するストーリーミングビデオの作成について、担当の社会奉仕委員会から会員の皆様に進捗状況を説明していただきます。

## ◆「55周年記念事業について」

### 社会奉仕委員長 奥村敏教会員



①55周年記念事業として、ロータリー財団の補助金事業を活用し関市地域における防災、非常時避難マップ作成。(全員参加型事業)今一度皆様に協力要請をお願い

したいと思っております。

②55周年記念事業内容として、皆様も既にご存知の通り大型モニターを“せきてらす”に寄贈し、さらに災害避難場所を撮影します。主に指定避難所は水害時等に避難する建物を指し、小学校、中学校等となります。その撮影した画像を“せきてらす”に寄贈した大型モニターにてスライドショー方式、又は動画を交えて流す事を予定しております。

③せきてらすに寄贈する大型モニターで非常時避難マップを静止画像・動画によるスライドショー形式で流すに当たり、ただ、ダラダラと流すだけでは何もインパクトが無く、人目を引くものになりませんので、現在、西田副会長を主軸とした三役、又55周年実行委員会と共に骨子となるような案を色々と模索しているところです。非常時避難マップをモニターにて流す最大の趣旨としては、関市民の安心、安全を確保する目的の為、静止画像や動画を流す前置き画像として人目を引くようなインパクトの有る演出ができれば、皆さんが撮影した避難所の画像が関市民の方々の心に留まり、結果的には、災害時に慌てず、焦らずと言った様に的確な避難ができ、結果 関市民の安心、安全に繋がるのではないかと思います。又、スライドショー方式でインパクトの有る静止画、動画を流す事が出来れば、関市民の方々が日頃の防災意識に一時的にも目覚めてくれれば少しでも防災、減災に繋がると思われますので、皆さんの撮影した画像や今回の55周年記念事業がとても重要な物となるのではないのでしょうか。(人目を引く演出について)

\*自治会での防災士の講演。プロジェクターを使い災害の資料と写真、被災者の実体験を。

\*防災士の朝倉勝美様、自ら関防災の会をボランティアで立ち上げ積極的に活動されている。

\*活動内容として、自治会や企業団体で講演会や防災に備えての簡単な実体験を催しているとの事でした。最近ではコロナで開催が出来ずオンラインセミナーを行っているそうです。現在の活動として、災害アーカイブ(災害写真を残す活動特に津保川氾濫災害の事)朝倉様が言われるには・・・55周年記念事業と目指す所が同じ、又ロータリーの理念 奉仕の心で社会貢献の理念も朝倉様とは通ずるものがありこのような方々のお力を借りて55周年記念事業を後世に残せるものと出来ればと思います。

④撮影方法としては、あらかじめ事務局又は三役で、各避難所に撮影許可を取ります。撮影の日時については、後で説明しますが、各班に振り分けした委員会ごとに日時を決めて頂き、指定避難所へ連絡を取り、撮影をしてきてください。撮影方法としては、避難所建物の外観・出入口・建物周辺の道路を撮影して頂く事を予定しています。指定避難所一覧表と画像の参考例を用意してメール等で撮影振り分け表と共に転送する予定です。

⑤委員会ごとの撮影振り分けに当たっては、なるべく撮影箇所がばらけないようにまとめて、委員長、副委員長等の住まいが撮影箇所に近い事を配慮したつもりです。

⑥撮影期限の締切日は12月を予定しております。



## ◆幹事報告

◎熱海豪雨災害義援金協力に際し、浦田ガバナーより、お礼状拝受

次例会のご案内 10月12日(火) 12:30

「出席表彰」と「防犯カメラ設置促進対策」

関警察署 署長 吉田浩二様 ※オンライン例会